

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	座間味村海域安全隊事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(12)ア	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	第 章1-(1)	
事業内容	村指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから、修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに周辺自然環境の保全活動を図るため、ライフセイバーを配置する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	10,000			
		(b)予算現額	10,000	10,000			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		10,000	10,000			
	B.執行済額		10,000	10,000			
	うち交付金充当額		8,000	8,000			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不要額も無く事業計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	村内3ビーチへのライフセイバー配置	目標	(4～5月(週末配置) 6～10月(常駐配置))	(5月～10月常駐配置)	()	()	
		実績	8～10月 (常駐配置)	4月26～11月 (常駐配置)			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成25年4月26日から11月末日までの期間、座間味村内(座間味島古ざまみビーチ、座間味島阿真ビーチ、阿嘉島北浜ビーチ)各ビーチにおいてライフセイバーを配置。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	村内3ビーチへのライフセイバー配置	目標	()	(3ビーチライフセイバー配置)	(3ビーチライフセイバー配置)	()	()
		実績		配置	配置		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 座間味村内(古ざまみビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)で事故ゼロで、安全確保ができた。 村内における各ビーチにおいて、安全に海水浴ができるようにライフセイバーを配置。水難事故を未然に防ぐように声かけを行っている。 また、声かけの際に、サンゴの破碎等自然環境へも配慮した声かけを実施。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成26年3月5日に国立公園指定をうけ、観光客の増加が見込まれる。(H26年4月前年比105%) 中でも、座間味村の主要ビーチ(古ざまみビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)は海域公園地区に指定されており、採取捕獲が規制される生物がありよりきめ細かな指導が必要となってきています。現在は、入水まえにサンゴへも配慮した指導等をおこなっているが、家族連れへの対応等、より徹底した指導が必要。今後とも、環境への配慮と安心安全な海水浴(マリンレジャー)をPRしていくことが必要。</p>	<p>観光客が多く見込まれる中、更なる環境保護と安全確保の為に、ライフセーバー人員が不足している。環境指導も行えるライフセーバーの育成が必要である。ライフセーバーの座間味村における環境保全(海域、陸域)における勉強会を開催。</p>
今後の取り組み方針		
<p>事故ゼロを目標に、安全・安心して、家族で楽しめる海に海水浴場にする。 ライフセーバーの増員をし、関係機関と連携、調整を行い、さらなる環境保護と安全の確保を図る。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	10,000	10,000	8,000	2,000	
<pre> graph LR A[座間味村 10,000千円] --> B[委託料 10,000千円] B --> C[沖縄ライフセイビング協会 委託料 10,000千円] D(ビーチ安全管理安全管理委託業務 委託料 10,000千円) --- C </pre>					

資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>随意契約 沖縄ライフセイビング協会は、専門知識、専門技術があり業務の遂行を円滑に実施できるため妥当である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	座間味村がんばる観光支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(12) ア	
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開 第 章 1-(1)	
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントプログラムの強化拡充や観光大使による県内外周知活動、県外アミューズメント施設での誘致活動等を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,227	15,000			
		(b)予算現額	14,227	8,119			
		(c)増減額(b-a)		6,881			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		14,227	8,119			
	B.執行済額		14,227	8,119			
	うち交付金充当額		11,381	6,495			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		各種イベント(補助事業)への補助確定額が当初予算より低かったため、不用額が生じている。また、県内外PR事業についてもH24年度からの継続事業のため、実施費用を抑制できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光客誘客に向け既存イベント及び新規イベントの充実拡充、支援	目標	(イベント開催補助)	(イベントへ補助)	()	()	
		実績	補助 ヨットレース他4件	補助 ヨットレース他4件			
	県内外PR活動の実施	目標	(パネル展の開催)	(パネル展の開催)	()	()	
		実績	開催 しながわ水族館	開催 しながわ水族館			
達成状況説明	イベントを充実・拡充し開催したことにより、観光客の増加がみられた。また、県外PR活動として、東京のしながわ水族館にて60日間パネル展を実施。ターゲットを絞ったことにより、ホエールウォッチング客が増加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	既存イベント及び新規イベントの充実・拡充開催 ・ホエールウォッチングフェスタ来場数： H24年度9,000人 H25年度12,000人 ・ヨットレース：28艇 300人 ・座間味島まつり500人 ・座間味村ファン感謝月間 800人 ・阿嘉・慶留間祭り 300人 ・新規イベント スタンドアップパドル 200人	目標	()	(イベント開催補助)	(観光協会へ補助)	()	()
		実績		補助	補助 ヨットレース他4件		
	県内外PR活動の実施 ・東京しながわ水族館PR活動60日間開催	目標	()	(県外活動の実施)	(県外活動の実施)	()	()
		実績		しながわ水族館にて実施	しながわ水族館にて実施		
	進捗状況説明	各種イベント実施については、村観光協会へ補助したことにより、イベントの充実・拡充周知がスムーズに行えた。県内外PR活動については、新たな取り組みで、映像(3D)やタブレット端末等を使い効率的なPRができた。					

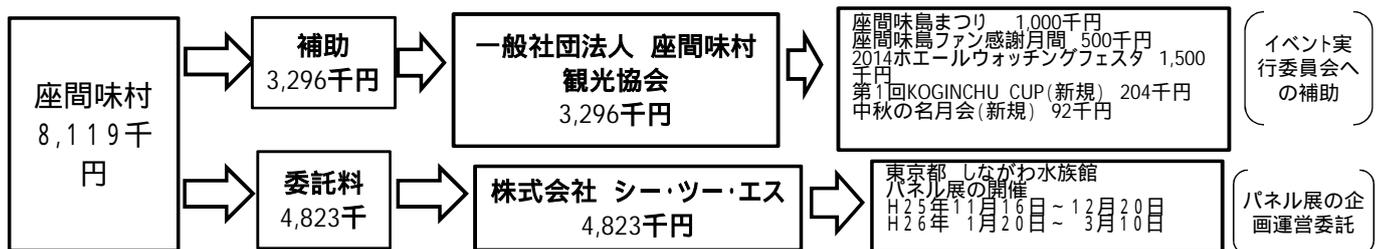
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>県外PR活動については、ターゲットを絞った取組だが、現在は東京のみとなっているため、関西圏や東北、北海道など、全国各地の水族館及び動物園とうでの周知活動を行う必要がある。 また、外国人観光客の増加が見受けられる。</p>	<p>外国人観光客が増加しているため、インバウンド対策を行い外国人でもイベントに容易に参加できる仕組みを作ることが必要である。 関西圏や東北でのPR活動の実施を行いターゲットを絞った活動を実施していく。</p>

今後の取り組み方針

インバウンド受入の強化。
各種イベントについては、更なる県内外へ周知を行うことにより、観光客増加へつなげる。
また、県内外PR活動については、他水族館でも開催することにより本村の魅力をPRしていく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,119	8,119	6,495	1,624	



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	平成25年度において、村民間団体と協議した結果、本事業を行なえる団体が、座間味村観光協会であった。本事業計画実施の実現性から、観光協会への補助金は妥当である。 委託先は、3社以上の事業計画の見積もりで、実施の実現性を考慮し、県外事業者と随意契約を締結した。企画運営において、妥当と考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村										
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-	座間味村観光受入拠点事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(12) ア						
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	第 章 1-(1)						
事業内容	年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会への補助を行い、観光客の誘致と満足度向上を図る。											
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()											
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
		(a)当初予算額	20,000	19,320								
		(b)予算現額	10,000	13,770								
		(c)増減額(b-a)	10,000	5,550								
		(d)繰越額	-									
		A.計(b+d)	10,000	13,770								
		B.執行済額	10,000	13,770								
		うち交付金充当額	8,000	11,016								
		次年度繰越額										
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%								
予算の状況の説明	不要額が7,697千円発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。											
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況									
			24年度	25年度	26年度	27年度						
	冬場の観光客誘致のため、ホエールウォッチングとからめたメニューの開発、ノルディックウォーキングや島まーい等の開発	目標	(運営補助)	(運営補助)	()	()						
		実績	補助	補助								
		目標	()	()	()	()						
	実績											
達成状況説明	年中無休の観光案内業務 ノルディックウォーキングのインストラクターの養成講座及びモニターツアーを行ったが、メニューの確立までにはいたっていない。											
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)					
	平成26年度以降の販売に向けた着地型旅行商品(ノルディックウォーキングや島まーい等)のモデルツアー開催	目標	()	(一般社団法人設立)	()	(ノルディックウォーキングインストラクター養成)	()	()				
		実績			平成24年10月1日(設立)	インストラクター3名養成 モデルツアー開催						
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()					
		実績										
進捗状況説明	年中無休の観光案内業務 ノルディックウォーキングインストラクターの養成(イントラ3名、イントラ補助員7名)及びモデルツアーの開催を行ったが、具体的なメニューの開発までは至らなかったが、モニターツアーを行うことにより今後の方向性が見えてきた。											

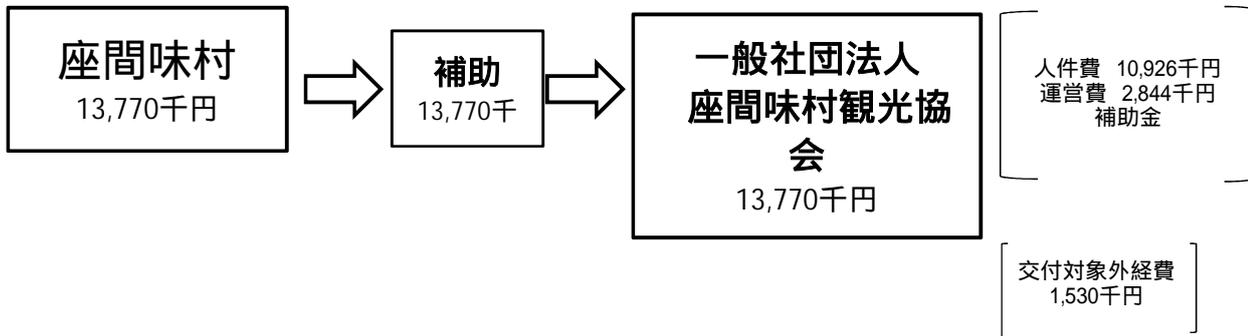
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	国立公園指定をうけ、国内外の観光客が増加し、今後も増加が見込まれるため(H26年4月前年比105%)村内事業所のインバウンドを含めた受入体制の強化が必要となっている。また、増加している観光客への多種多様な案内業務を丁寧な接客で対応するため、従業員の確保が必要となっている。年中無休の観光案内を行った結果、冬場の観光誘客が脆弱であることがわかった。	外国人客が増加しているため、各種外国人対応講座及び新規メニュー開発を開催し、受入体制の強化を図る。 冬場の観光メニューで一年中楽しめる島をアピールすることは、島の産業振興に資する。

今後の取り組み方針

各旅行業者との意見交換会の実施を行い、専門的分野からの意見を求め、今後の誘客活動の効率的な実施へ向け取り組む。座間味村における案内業務の充実(案内従業員の確保・接客向上)及び、冬場の誘客活動や新規メニューの開発を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,300	13,770	11,016	2,754	1,530



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的を達成するにあたり、村内においては、当法人しなく妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は、事業目的達成の観点から最低限必要な経費であり妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担については、1割あり妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

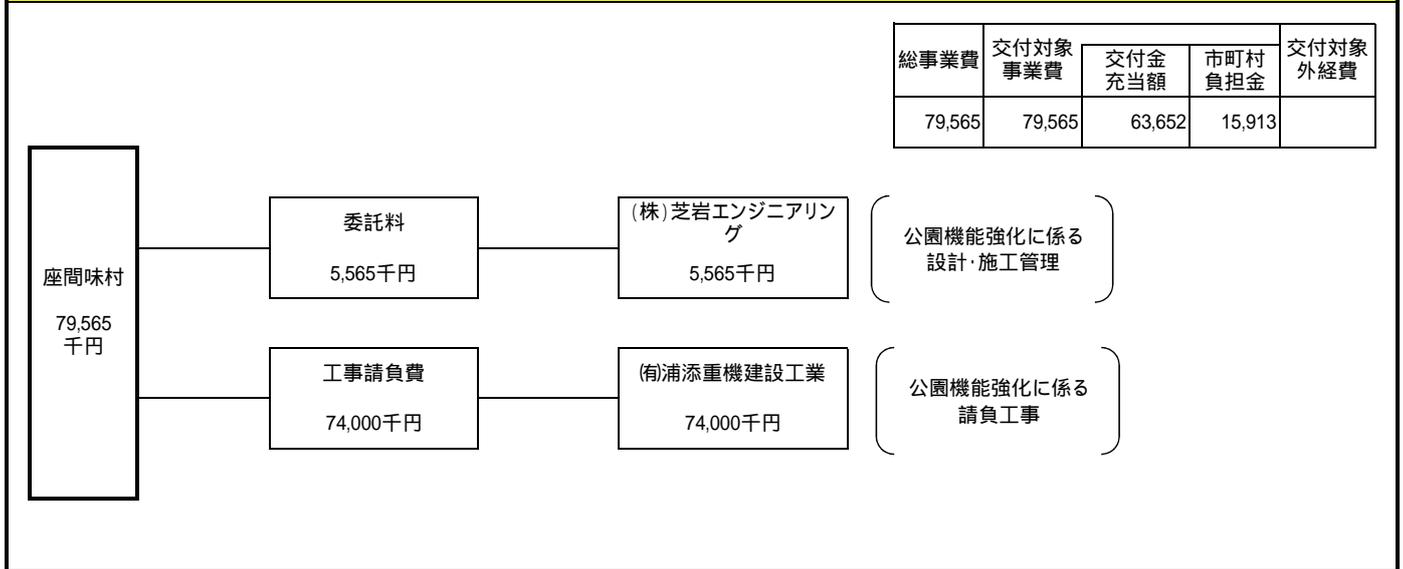
市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア	
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開 第 章 1 - (1)	
事業内容	観光客の受け入れ態勢の強化と満足度向上を図るため既存公園内の機能拡張に向け整備等を行う。本年度は東屋、ベンチを取付け人工芝によるグラウンド整備とビジターセンター建築に向けた用地購買や詳細設計を行う。						
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他	
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,274	80,000			
		(b)予算現額	17,274	80,000			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		17,274	80,000			
	B.執行済額		17,273	79,565			
	うち交付金充当額		13,818	63,652			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.5%			
予算の状況の説明		不要額が435千円発生しているが、委託費入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公園機能強化に伴う設計・整備の実施 ・ビジターセンター建築に向け用地購買	目標	(委託業務発注 請負工事発注)	(委託業務発注 請負工事発注)	()	()	
		実績	委託業務発注 請負工事発注	委託業務発注 請負工事発注			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	公園機能強化整備に係る設計・管理委託業務及び整備に係る請負工事を入札による発注後それぞれ完了及び竣工した。ただし用地購買については相手方との調整が難航したため、未購買となった。また、一部請負工事において当初見込んだベンチの取り付けと人工芝の設置については見直し健康器具の充実を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	公園機能強化(東屋・駐輪場・バスケットコート・緑地整地整備等) ・用地購買(V=3,750㎡)	目標	()	ビーチバレーコート 2面	整備一式 (東屋・バスケットコート・ 健康器具)	()	()
		実績		ビーチバレーコート 2面	整備一式 (東屋・バスケットコート・ 健康器具)		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	魅力ある地域観光地の拠点として既存公園機能強化を図るため東屋・駐輪場・バスケットコート・緑地整地等を行い本年度の事業は竣工した。なお、土地購買については相手方の事業変更が生じたため購買を取り下げたが賃借により借り受けることとしたため将来計画に変更は無し。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今後の事業展開として基本構想計画を策定していることから、これに準じ無理の無い事業展開を行う事が必要である。</p> <p>また、平成26年3月5日に本村は国立公園に指定されたことにより国立公園に係る制限や規制等がかからないよう留意が必要である。</p> <p>・観光客への利用促進について周知及び広報活動が必要である。</p>	<p>施設規模、規格及び利用者のニーズの動向において関係機関(観光協会・ダイビング協会・地域住民)との意見確認を行い改善余地の検証を行う事とする。</p> <p>・国立公園指定に係る制限や規制について法的手続きが生じた場合は速やかに手続きを行う。</p> <p>・ホームページを活用した周知を図り、観光協会窓口にて陸域観光ポイントとして案内を行う。</p>

今後の取り組み方針

基本となる構想計画において住民への説明や関係機関との調整を行いながら改善案等が発生したら速やかに対処し、より本村にあった公園機能強化として整備を実施していく。なお、これまでの公園機能強化後、住民へ利用促進を図ったところ、更に魅力ある公園整備の充実の声も多数あり、特に国立公園の指定を受け公園内の景観についても多数の意見に対応するよう取り組むこととする。また、観光客への利用促進についてはホームページでの発信やパンフレットへの記載を行い観光協会窓口での対応を図ることとする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



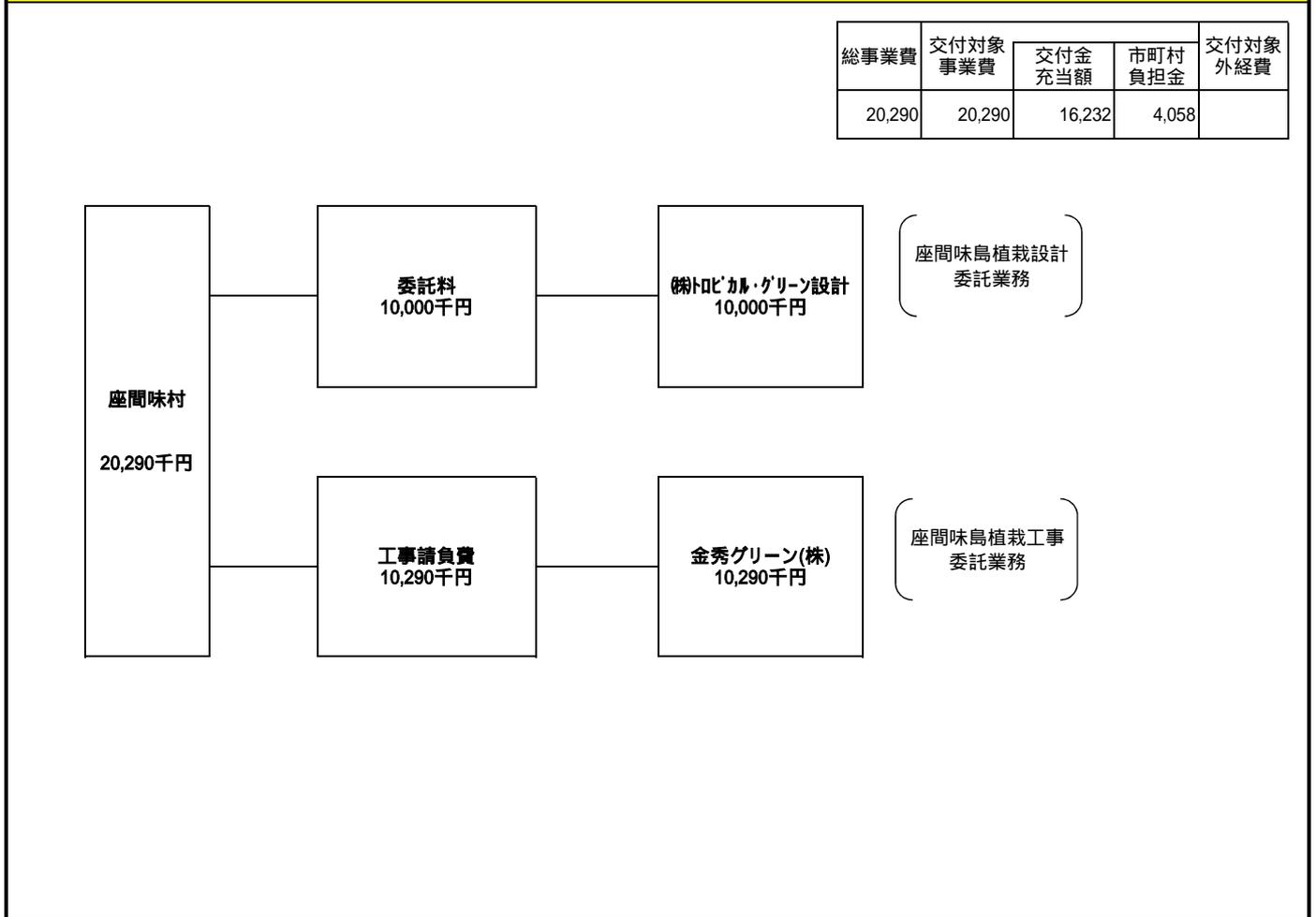
資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業及び工事請負は入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 座間味村美ら島づくり花の森整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-イ		
	産業振興課		事業実施(予定)年度 平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
担当部課名					花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	観光客誘致と受入態勢の整備のため国立公園である本村の自然を生かした魅力ある景観形成促進のため、フラワーパークの構築や、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間を通して花と緑で観光客を迎え入れる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,602	20,541			
		(b)予算現額	10,602	20,541			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	10,602	20,541			
	B.執行済額		10,500	20,290			
	うち交付金充当額		8,400	16,232			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.0%	98.8%			
予算の状況の説明		251千円の不用額が発生しているが、植栽工事による入札残によるもので活動目標及び成果目標は達成できている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	座間味島の実施計画の策定 阿真区の植栽工事着手	目標	(基本計画策定業務委託)	(設計図策定植栽工事)	()	()	
		実績	基本計画策定業務委託	設計図策定植栽工事			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	H24年度は、座間味島3地区の住民意見交換会を行い、美ら島づくり花の森整備事業報告書、美ら島づくり花の森基本構想・基本計画を策定した。 H25年度において、座間味島3区(座間味地区・阿佐地区・阿真地区)当該地区の「美ら島づくり花の森整備業務実施設計図」を作成した。また、阿真区で実施設計図に基づいた、植栽工事を実施。 植栽内訳 阿真観光道 オキナワシャリンバイ(330本)ブッソウゲ(585本)カンヒザクラ(144本) キャンプ場 ピロウ(6本)ブッソウゲ(234本)オキナワシャリンバイ(129本)飾花コンテナ(12基)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	座間味島の実施計画の策定 阿真区の観光道路の整備及び植栽 阿真区のキャンプ場の整備及び植栽	目標	()	(基本計画策定業務委託)	(設計図策定植栽工事)	()	()
		実績		基本計画策定業務委託	設計図策定植栽工事		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	意見交換会の実施(3/5):座間味地区・阿佐地区・阿真地区で行った。(H26年度に阿嘉地区、慶留間地区で実施予定) 実施設計図の作成(3/5):座間味地区・阿佐地区・阿真地区の「美ら島づくり花の森整備業務実施設計図」を作成した。(H26年度にて阿嘉地区・慶留間地区を予定) 植栽工事の実施(1/5):阿真地区の観光道路及びキャンプ場周辺の植栽工事を行い、集落の景観美化及び観光客誘致に力を入れた。(H26年度以降に座間味地区・阿佐地区・阿嘉地区・慶留間地区を予定)						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 本村は主要3島からなる島嶼村であり、3島(5地区)の自然景観に合致した取り組みが求められている。 3地区での意見交換会を行った上で、共通の問題点は台風時のと、北風が強い場合どうするか。 意見交換会では、3地区とも8割以上の住民の参加があった。 植栽後の維持管理については、村と協議していく。 阿真地区においての植栽については、住民からの要望で植栽を行った。 植樹の選定では、意見交換会での植物となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 台風時、北風に対しては、植付の際、添え木を強化し、近隣の木との間合いを見ながら植付を行う。 植栽後の維持管理については、肥料や下草刈り等があり賃金等が発生すると思われるので、住民と協議していく。 意見交換会での住民からの意見を尊重し、要望等に合うように進める。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会で話し合われた、住民の意見を尊重し設計図を作成し、植栽工事を実施する。 3島に来る観光客が、海域、陸域で楽しんで、喜んでいただける花の森事業にする。 3島特有の環境に合わせた設計図を策定し、意見交換会で話し合われた、住民の意見を尊重し、国立公園指定の意識を持つような、説明会取り組みを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 使 途 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 設計委託は、プロポーザルによる業者選定を行い、住民の意見を取り入れた設計書を作成したので妥当だと考えられる。 植栽工事は、一般競争入札を行い、設計書に基づいた植栽工事を実施した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	座間味村ホールネットNEXT事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2（6）イ	
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 1（2）	
事業内容	観光地として観光客の安心と安全の確保と災害時におけるいち早い対応を構築するためIP網を屈指した防災無線の取付と、離島の離島である阿嘉・慶留間及び隣村の渡嘉敷村を結ぶ高速無線LAN設備を増強し、質の高い情報網の構築を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		80,000			
		(b) 予算現額		84,841			
		(c) 増減額 (b-a)		4,841			
		(d) 繰越額		-			
		A. 計 (b+d)		84,841			
	B. 執行済額			84,641			
	うち交付金充当額			67,712			
	次年度繰越額						
	執行率（%）(B/A)			99.8%			
予算の状況の説明		・当初予算額80,000千円、補正額4,841千円。 ・防災情報システムをより充実したものとするため、当初予算から増額補正した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	座間味村防災情報システム整備構築	目標	()	(システム整備構築)	()	()	
		実績		システム整備構築			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・座間味村防災情報システムを構築し、目標を達成した。 ・村内に情報システムとしてWi-Fi網を整備した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	座間味村防災情報システム整備構築 防災無線網構築方式の決定と村内全域への整備	目標	()	()	(システム整備構築)	()	()
		実績			システム整備構築		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明		・座間味村防災情報システムを構築し、目標を達成した。 ・村内に情報システムとしてWi-Fi網を整備した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報の放送が聞こえにくい世帯がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報の放送の音量調査を実施し、戸別受信機を設置し、音量の改善をする。 子どもや、お年寄り等自ら避難できない方々に対して地域で対応する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 構築した防災情報システムを活用しての村内全域防災訓練の実施。 更に向上させるために構築した防災情報システムを活かした、防災SNSなど様々なメニューの開発を実施する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,641	84,641	67,712	16,929	


```

graph LR
    A[座間味村  
84,841千円] --> B[工事請負費  
84,841千円]
    B --> C[NTTビジネスソリューションズ 九州支店  
84,841千円]
    subgraph D [ ]
        C
    end
  
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 工事請負業者はプロポーザル方式により、企業組織、実績等を勘案して選定しており妥当であったと考えている。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

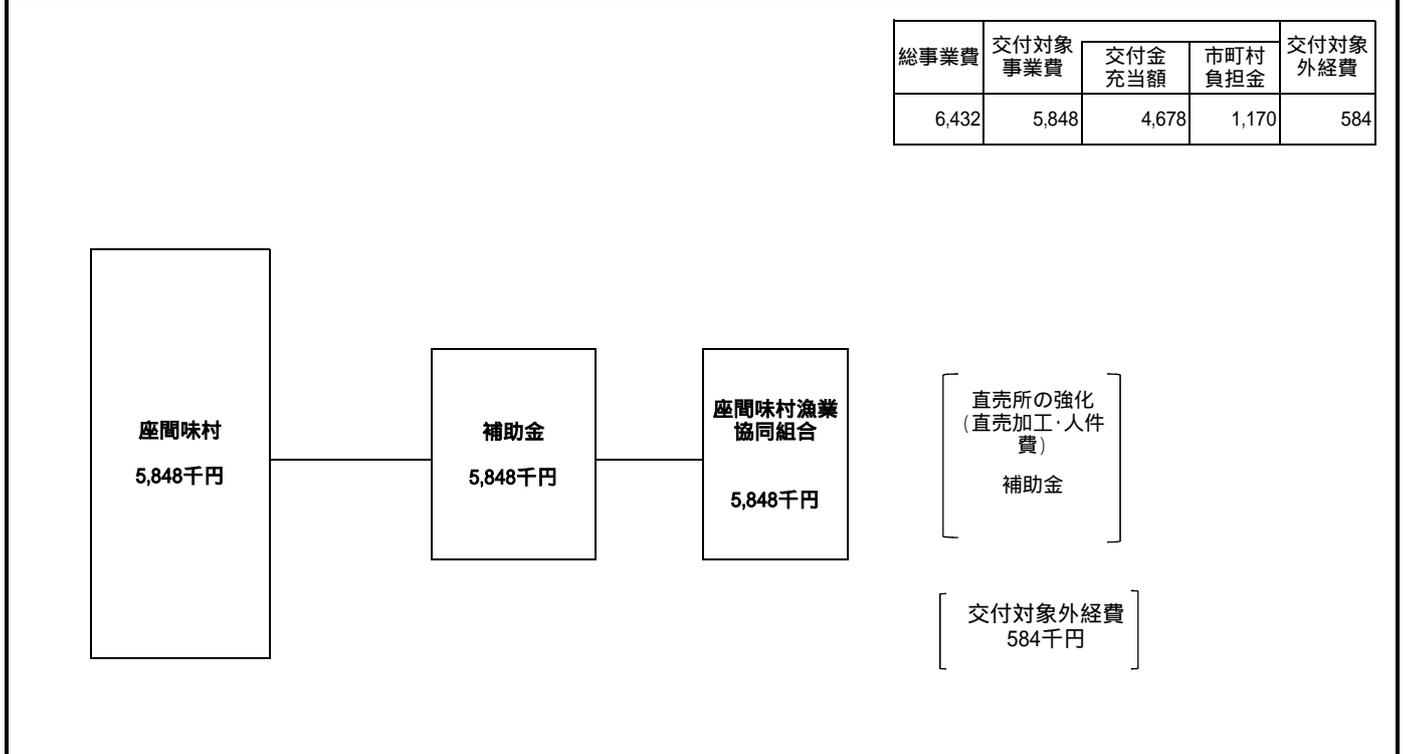
市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	座間味村鮮魚美食事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(12)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 第 章1-(6)	
事業内容	村内における漁獲物の付加価値向上を図るため、村ブランドの確立等に取組み、地産地消を推進する。又直売所を強化し、鮮魚や特産品の直接販売の取組みを推進する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	22,481	6,166				
	(b)予算現額	22,481	6,166				
	(c)増減額(b-a)						
	(d)繰越額	-					
	A.計(b+d)	22,481	6,166				
	B.執行済額	21,783	5,848				
	うち交付金充当額	17,426	4,678				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	96.9%	94.8%				
予算の状況の説明	消耗品等の充足により不要額が生じたが、全ての目標は達成できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	バヤオの設置等、漁場整備・FRP製浮漁礁の設置等	目標	(3基設置)	()	()	()	
		実績	3基設置				
	直売所の強化 機材購入設置 ・スチムコンベクションオ-ブン ・プラスチックラ- ・業務用冷凍庫	目標	(1ヶ所 1台)	(1台 1台)	()	()	
		実績	1ヶ所 2台 5台・30台	1台 1台 1台			
達成状況説明	平成24年はバヤオ設置、鮮魚輸送への整備、平成25年は直売所の強化。周りを海に囲まれ、豊かな漁場を有する本村の地域力(人材、資源、伝統)を活かし、観光産業と融合した水産産業を創出し、地域力向上を図る。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	バヤオの設置等、漁場整備・FRP製浮漁礁の設置等	目標	()	(3基設置)	()	()	()
		実績		3基設置			
	座間味村産の水産物を用いた新商品開発と既存商品刷新の実施 【直売所の強化】 機材購入設置 ・スチムコンベクションオ-ブン ・プラスチックラ- ・業務用冷凍庫	目標	()	(1ヶ所 1台)	(1台 1台)	()	()
		実績		1ヶ所 2台 5台・30台	1台 1台 1台		
	進捗状況説明	島の海産素材を活かした加工食品の開発と、観光客向けの特産品の開発にあたり食品加工と販売のノウハウ取得までの人材を育成している。 島の海産素材を活かした加工食品の開発のため、備品を整備する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは鮮魚の保存ができる冷蔵庫・ボックスも少なく、保存環境に不安があったが、現在は直売所ができ、加工場も整備されいつでも、新鮮なさしみ、てんぷらが、提供できる。 ・住民、民宿事業者、観光客には、いつでも新鮮な魚を提供することができる。 ・継続した商品の提供には安定した漁獲量が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに、需要が高まれば漁業者の漁獲量のモチベーションが高まる。 ・漁業者の漁獲量の向上は、安定した商品の提供に繋がる。 ・上記2点が循環すれば、本事業の目的である地産地消のシステムの構築に資する。

今後の取り組み方針

- ・水産物の安定生産供給体制を構築し、観光産業と融合した産業を創出し、地域の魅力向上を図る。
- ・漁協及び漁業事業者との連携による、養殖筏・活魚運搬設備の設置や、加工食品開発を行っていく。
- ・6次産業化に向けた食品の開発を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の支出先は、公益団体であり、選定は妥当である。 受益者負担については、1割あり妥当である。 また、事業の用途については実績報告、額の確定時においての支出等の書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-	サンゴ(海の花)育成・植付事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開
				第 章 10 - (1)

事業内容
 白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	4,700	6,388		
	(b)予算現額	4,230	6,388			
	(c)増減額(b-a)	470				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	4,230	6,388			
	B.執行済額	3,731	5,771			
	うち交付金充当額	2,686	4,616			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	88.2%	90.3%			
	予算の状況の説明	研修職員の採用、配置が遅れたため人件費の減額が発生した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	・サンゴの採卵 ・人口基盤へサンゴの付着 ・海上イクスへの移動及び育成管理	目標 (人材採用、育成)	(採卵、付着)	()	()
	実績	人材採用1名	採卵4回、付着1,000本		
		目標 ()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	漁業協同組合職員を臨海研究所に派遣することによって専門的知識を習得することができ、今年度においては産卵シーズンに採卵を行い、人口基盤への付着作業を行った。今年度の業務の流れを次年度へ向け確立していく為の展開ができた。				

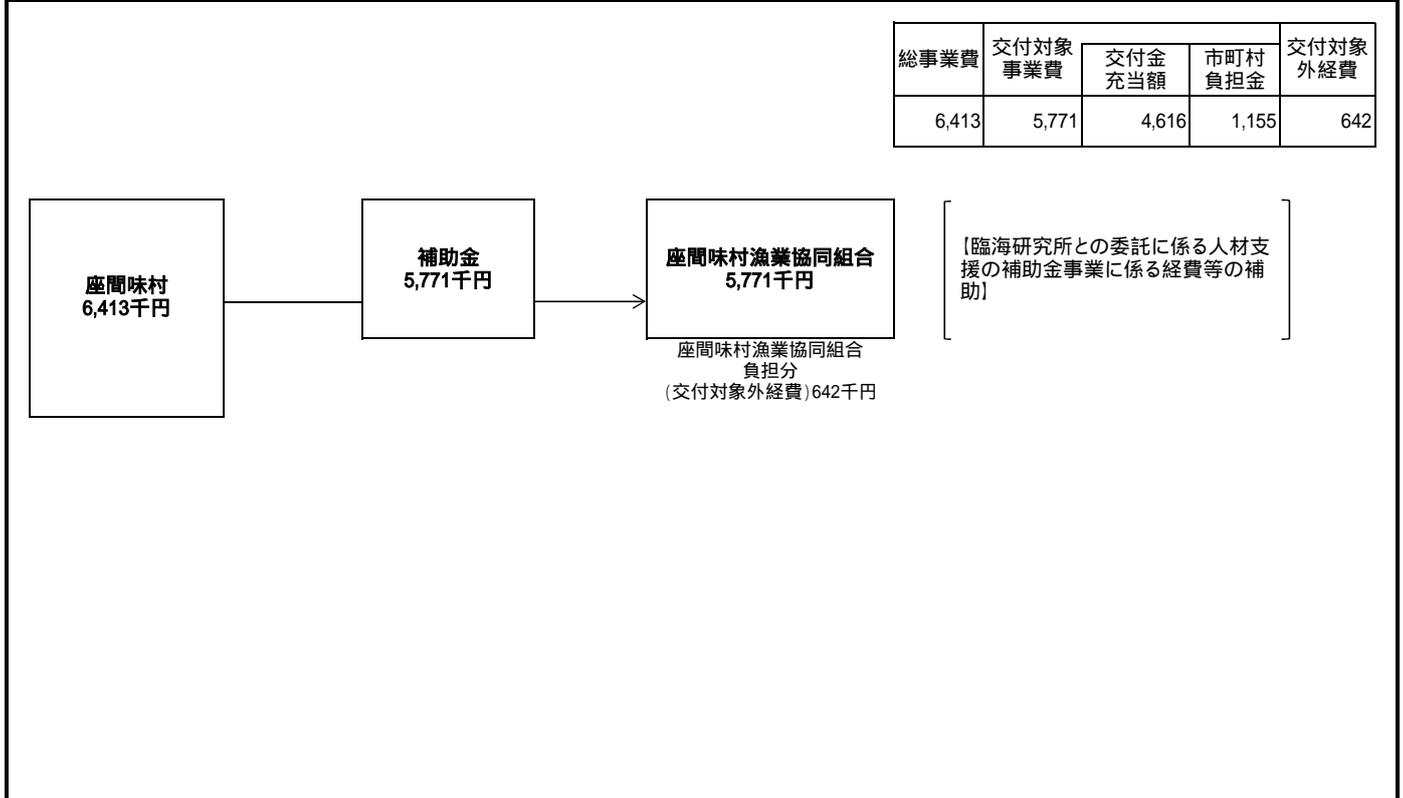
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			サンゴ種苗の育成・確保 ・目標本数 1,000本	目標 ()	海上イクス1基 研修会3	(1,000本)
	実績		海上イクス1基 研修会2回	200本		
[参考指標]		目標 ()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	種苗を人口基盤付着後から、海上イクスへ移動後、夏から秋にかけての複数回の台風の影響により、陸上から土砂や草木が流れ、また海上イクス周辺の塩分濃度が下がり、種苗へ大きな影響が出た。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	人材育成においては、臨海研究所より専門的な知識を学びサンゴの生態において徐々に把握してきている。植付事業を展開するにあたって、展開できる程の種苗の確保ができていない。 平成25年度は種苗の目標本数を1,000本に設定し、5月から8月にかけて1,000本を付着させた。育成方法としては、海上イケースの中の海中で種苗を育て、保全方法は海中のゴミなどの付着物の除去、種苗に着いた藻などの除去を行ったが、大雨による陸からの土砂の流入、台風の際の保全強化が機能していなかった。	苗の確保においては、漁業協同組合が人材を派遣している臨海研究所の指導を仰ぎながら、更なる環境の良質を求めていく。 また、保全方法は天候等の変化も考慮し、更なる本数の確保に努力していく事とする。

今後の取り組み方針

植付開始をするにあたっては、管理等含め中心となる組織が必要と考えるので会議等をひらき、村民、漁業協同組合の意見を集約し、反映させる。植付業務を開始する事前に、関係者等と計画を練り、植付時期、保全方法を明確にし、事業を遂行していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の支出先は村漁業者の9割が加入している公益団体で、選定は妥当である。 ・費目・用途については実績報告、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ・受益者負担については、1割あり妥当である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-	座間味村鮮魚冷凍製氷施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(12)-イ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度	農林水産業の振興 第 章 1 - (6)
			沖縄振興基本方針該当箇所	

事業内容
座間味村漁業協同組合所有で現在使用中の冷凍冷蔵庫(製氷機)において機能低下により必要量の氷が確保できず水産業の低下を招いており、そのため機械入替えを行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額		43,906			
	(b)予算現額		43,906			
	(c)増減額(b-a)					
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		43,906			
	B.執行済額		43,684			
	うち交付金充当額		34,947			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		99.5%			
	予算の状況の説明	入札残及び消耗品等の残による差額。				

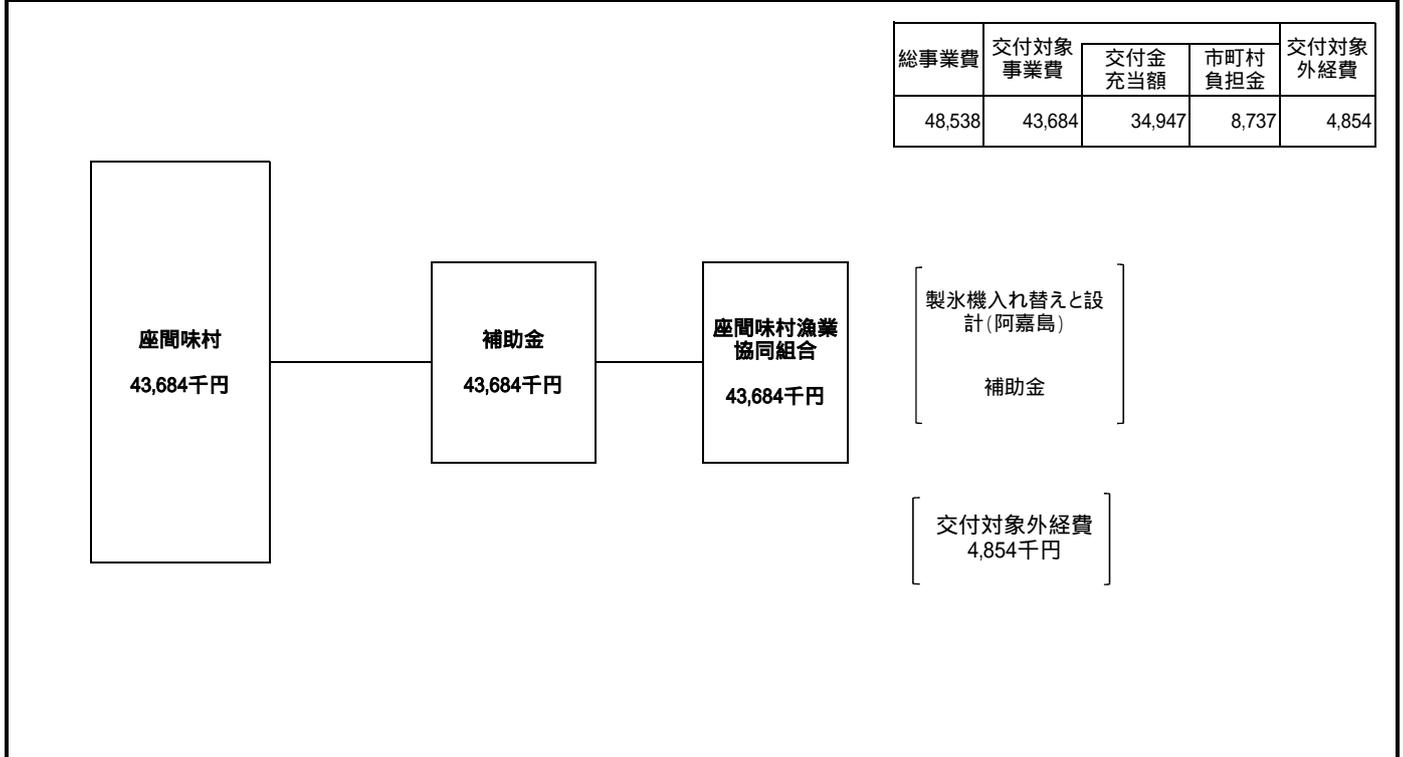
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		冷凍冷蔵庫(製氷機)入替	目標	()	(製氷機1式導入)	()
		実績		製氷機1式導入		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	・地元漁協の水産冷凍冷蔵施設の老朽化により、計画的に漁業が出来ず生産者の意欲低下を招いていることから、観光とリンクした水産業推進を図るため、施設取替整備に係る費用を補助し安定した漁業により水産物の水揚げを確保する。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		冷凍冷蔵庫(製氷機)入替	目標	()	()	(製氷機1式導入)	()
			実績			製氷機1式導入	
		【参考指標】	目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・本事業を活用して、機械設備の入替えを行い、漁業者の漁獲物の鮮度保持を始め、村内における氷の供給等に期待が出来る。特に、夏のカジキ・マグロ漁や冬のソデイカ漁の時季になると、宿泊を伴う出漁が多くなることから、漁獲物の鮮度保持の為に大量の氷の供給が可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は供用開始より満16年が経過。耐用年数を超える事から、故障多く、魚の鮮度保持が出来ない状態であった。 冷凍冷蔵庫(製氷機)入替により、安定した氷の供給ができ、漁獲物の増が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者への安定した氷の提供ができ水産物の生産向上が見込める。 今後は新鮮な魚を提供し、地産地消による漁獲量の向上が期待できる。 直売所等へ安定して新鮮な魚を提供するためには、維持管理が必要。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 漁業者及び観光客・住民が氷の安定生産供給体制を構築する。 座間味村漁協協同組合を管理者とし、建物、冷凍冷蔵庫(製氷機)を運営していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の支出先は、公益団体であり選定は妥当である。受益者負担は、1割あり妥当である。また、事業の用途については実績報告額の確定時においての支出等の書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	島ちゃび解消移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第2章 3-(11) ウ	
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 第 章 9	
事業内容	離島観光利便性の向上と離島住民の足を確保し、観光振興と定住条件を図るため、フェリー及び高速船が悪天候などにより欠航等の場合、ヘリチャーターによる移動した際の運賃の一部支援を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,000	5,985			
		(b)予算現額	4,000	8,700			
		(c)増減額(b-a)	2,000	2,715			
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		4,000	8,700			
	B.執行済額		3,660	6,060			
	うち交付金充当額		2,928	4,848			
	次年度繰越額						
	執行率（%）(B/A)		91.5%	69.7%			
予算の状況の説明		不要額が2,640,000円発生しているが、平成25年12月末に起きたアイラス航空株式会社の遊覧飛行の際の事故の影響で、平成26年1月～3月までのフライトを自粛していただいたため、フライト数が大幅に減少している。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ヘリコプターチャーター支援のフライト数	目標	(125フライト)	(195フライト)	()	()	
		実績	122フライト	202フライト			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初は195フライト×30,000円であり、補助額5,985,000円であったが、4月～10月までに172フライト(5,160,000円)の実績があり、増額補正を行った。11月～12月は30フライト(900,000円)であり、1月～3月はフライトを自粛している。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	ヘリコプターチャーター支援のフライト数	目標	()	(125フライト)	(195フライト)	()	()
		実績		122フライト	202フライト		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初は195フライト×30,000円であり、補助額5,985,000円であったが、4月～10月までに172フライト(5,160,000円)の実績があり、増額補正を行った。11月～12月は30フライト(900,000円)であり、1月～3月はフライトを自粛している。					

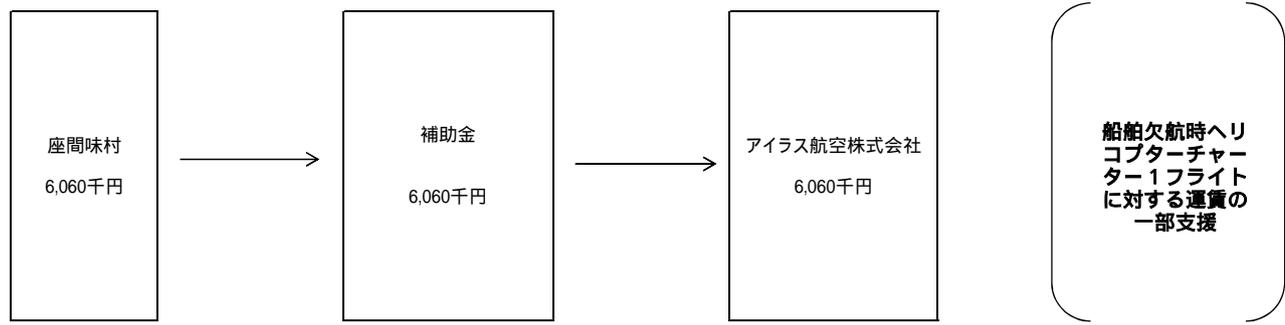
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	1フライト60,000の半額を助成する事業で、残りの30,000円分を搭乗者で折半することとなります。 チャーターして1人で搭乗すると利用者の負担が大きいたことが問題となっている(1人で30,000円の負担) 村としては、より多くの方に利用してもらい、更なる負担軽減を図る措置を講じなければならない。	利用者が1人で乗るという最大限の負担を減らす為には、航空会社のみでなく、官民が一体となったとりまとめの工夫が必要である。 ・海上交通が欠航の場合、港で乗船できなかった人に呼びかける必要がある。 ・負担額を考えてチャーターヘリに乗るか迷っている人に対して最終搭乗者数を連絡 する必要がある。

今後の取り組み方針

座間味村としては、座間味村観光協会にてとりまとめが出来ないか、もしくは、慶良間空港または座間味村役場(船舶班)にて取りまとめが出来ないか検討する。特に船舶班にて、取りまとめが出来れば、船舶の運航の確認をし、欠航だった際にスムーズに、ヘリコプターの予約が出来るので協議する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,060	6,060	4,848	1,212	



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	船舶欠航時のフライト料金半額補助のみであり、予算は昨年度の実績をもとに数値を出している。また、沖縄県にて民間ヘリ輸送を行っている業者がアイラスのみであることから、妥当であるといえる。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

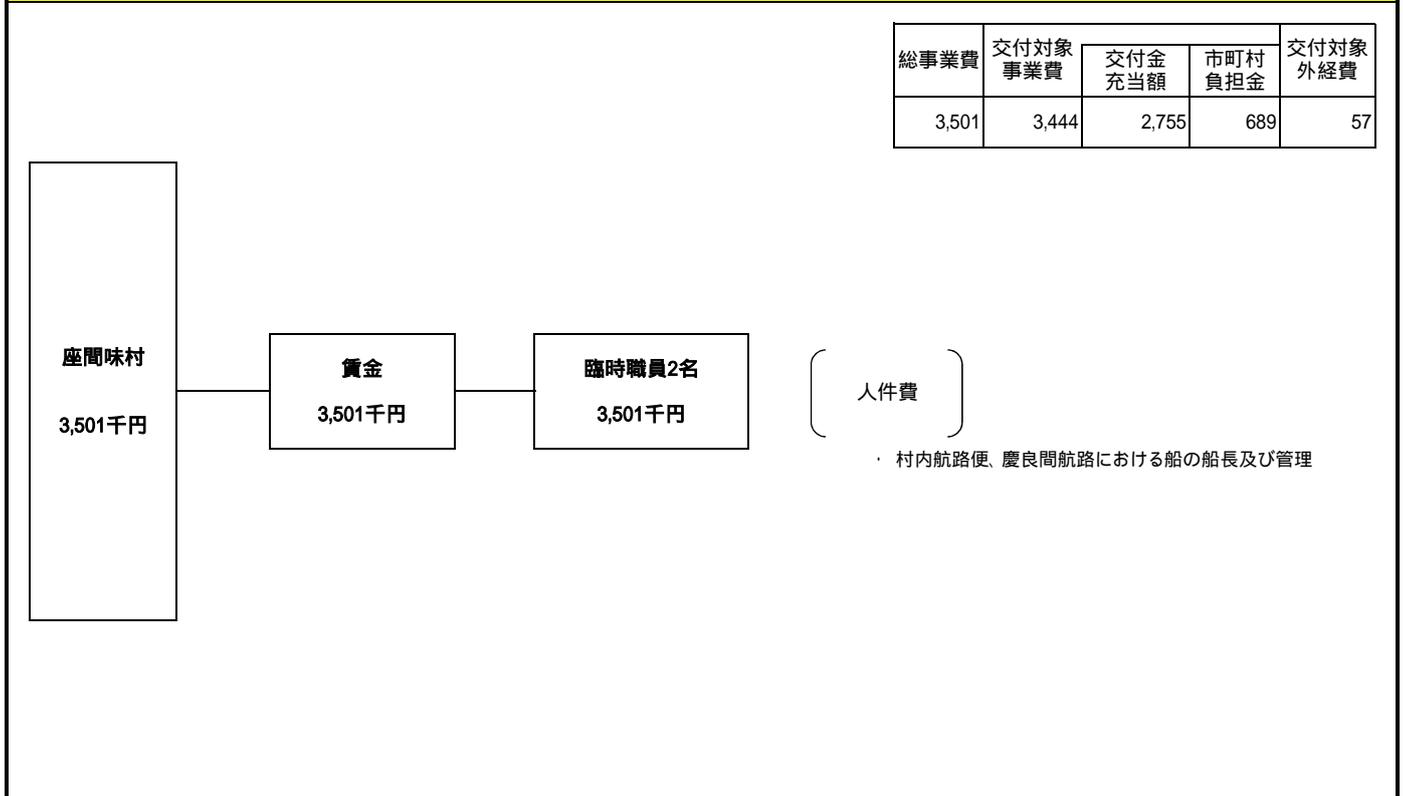
市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-		座間味村村内運航に係る対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 第 章 9
事業内容	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,014	3,468			
		(b)予算現額	1,886	3,468			
		(c)増減額(b-a)	128				
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		1,886	3,468			
	B.執行済額		1,886	3,444			
	うち交付金充当額		1,508	2,755			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.3%			
予算の状況の説明		台風などの悪天候により、休日となったために未執行額が出た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	座間味島～阿嘉島間	目標	(800回)	(1300)	()	()	
		実績	841	1403			
	渡嘉敷村～座間味村	目標	(60回)	(590)	()	()	
		実績	32	373			
達成状況説明	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶資格を2名採用し、座間味島と阿嘉島間の定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規事業を実施し新たな離島交通の足を確保できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	座間味島～阿嘉島 渡嘉敷村～座間味村	目標	(800回 60回)	(800 60)	(1300 590)	()	()
		実績		841 32	1403 373		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	離島と離島を結ぶ海上交通手段としての足の確保及び、渡嘉敷村と座間味村の諸島間の新規運航を展開し、観光メニューの選択肢が増えることにより観光基盤の向上が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまで、渡嘉敷島から座間味島へ渡るには沖縄本島を経由しなければならなかったが、当該事業により観光客の選択肢が増えてより多くの方が慶良間諸島を楽しむことができるようになった。</p> <p>今後の事業展開として、通年運航はもとより、運航ダイヤなどを検証し、利用回数の向上に努める必要がある。</p>	<p>船のダイヤは、住民ニーズや観光メニューにも関わるので、渡嘉敷村を含めた関係機関(観光協会、商工会、ダイビング協会等)できめ細かな運航をするための意見交換会が必要である。</p>

今後の取り組み方針

住民や関係機関、隣村などとの調整を行いながら、改善等が発生したら速やかに対処し、運航強化をすることで、事業の効果を高める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先については、村臨時職員として募集し、面接等を行い職員(船長)を採用しており妥当である。 村の資金規定により予算規模は妥当である。 慶良間内の村民、観光客の足を確保するために適正に執行されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 座間味村慶留間・阿嘉地区避難道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 2(4) イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-10-(2)	
事業内容	地震、津波等発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難道路を整備し災害に強い村づくりを図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額		18,864			
		(b)予算現額		16,287			
		(c)増減額(b-a)		2,577			
		(d)繰越額		-			
	A.計(b+d)			16,287			
	B.執行済額			16,287			
	うち交付金充当額			13,029			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		当初は、10,864千円の予算額で執行したが、測量調査等により擁壁での対応が必要箇所があることから、ポウリング調査実施のため増額補正をおこなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	慶留間阿嘉地区避難道路整備事業委託業務	目標	()	(委託業務完了)	()	()	
		実績		委託業務完了			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	H25年度は委託業務 H26～H27年度工事請負予定 H26.3.20 委託業務完了						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	慶留間・阿嘉地区避難路の整備(委託業務完了) 慶留間阿嘉地区避難道路整備事業委託業務	目標	()	()	(委託業務完了)	()	()
		実績			委託業務完了		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	H26.3.20 委託業務完了					

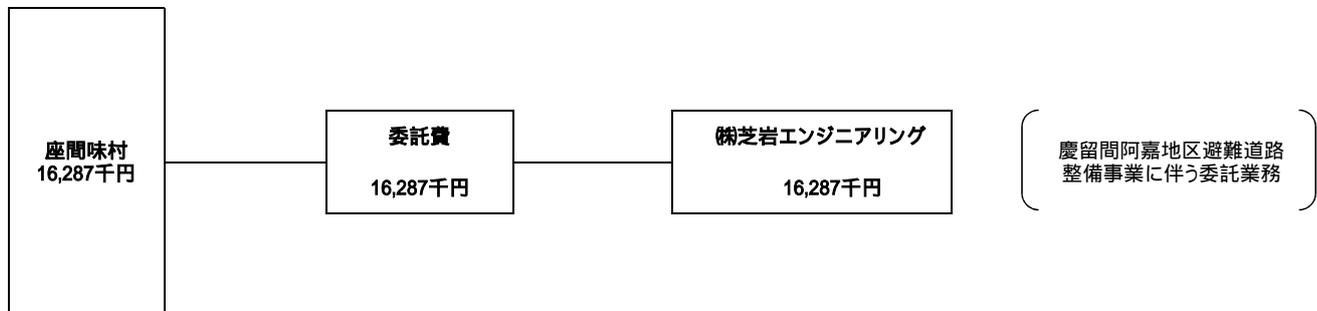
推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	安全管理の徹底を図り、災害のない工事を進める。 完成後は観光道路とリンクした活用方法の検討する。 赤土汚染防止の徹底。	避難道路を活用した避難訓練の実施。(関係機関との調整) 老人、子供、観光客への誘導方法マニュアル作成(関係機関との調整)

今後の取り組み方針

避難訓練の実施。
課題等を明確にし、住民、行政が協同で方針を住民会議で周知する。
観光客が一目でわかる避難ル-トを示す掲示板の設置。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,287	16,287	13,029	3,258	



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	業者は指名参加願いに提出された登録事業者のなかから選出し指名競争入札を実施した。 予算規模は適正な規模だと考えられる。 費用、用途については目的に則したものだと考えられる。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		座間味村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	自動車航送の運賃低減化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 第 章 9	
事業内容	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である本島 座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃補助を実施し、高い交通コストの軽減を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)			535			
				1,456			
				921			
				-			
	B. 執行済額			1,456			
	うち交付金充当額			1,164			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
	予算の状況の説明		当初、予定していた台数を大幅に上回ったため、増額補正を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自動車航送運賃低減台数	目標	()	(60)	()	()	
		実績		223			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	周知活動により、利用台数を大幅に上回る事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	自動車航送運賃低減台数	目標	(60台)	()	(60)	()	()
		実績			223		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	沖縄本島での移手段の確保、または車検整備における自動車航送運賃低減化を図ることで、離島特有の経済的負担の軽減が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄本島での交通手段の確保、車検整備などの経済的負担を軽減することができたが、車検整備における自動車航送については、申請者の名義のみとなっているので、法人名義等を今後、どうするかが問題となっている。</p>	<p>今後の経済的負担を軽減させるのを事業者まで拡大するのが検討していく必要がある。</p>

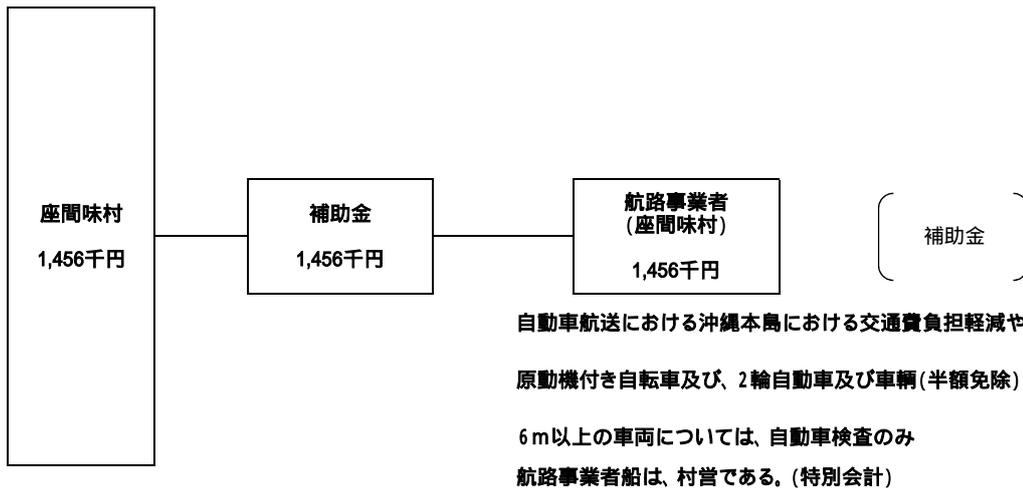
今後の取り組み方針

今後、さらなる周知活動を実施することで、村民誰もが沖縄本島での移動手段の確保ができるように支援し、経済的負担を軽減することで離島における生活苦を解消できるように努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

自動車抗送島割割引(往復半額免除)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,456	1,456	1,164	292	



自動車航送における沖縄本島における交通費負担軽減や自動車検査における自動車航送免除
 原動機付き自転車及び、2輪自動車及び車輛(半額免除)
 6m以上の車両については、自動車検査のみ
 航路事業者船は、村営である。(特別会計)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先については、公益性があり妥当である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は、増額があったものの概ね妥当である。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担は、5割あり妥当である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	座間味村自動車航送運賃低減化事業実施要綱に定めた事業を執行することで、村民の負担軽減を図れていることにより、妥当だと考えられる。	

市町村名		座間村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4		座間味村外来植物討伐事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 1 (1) ア	
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用 第 章 10-(1)	
事業内容	自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化している外来植物「モクマオウ木、ギネネム木」繁殖の抑制を図るため討伐事業を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,900	21,214			
		(b)予算現額	18,900	36,183			
		(c)増減額(b-a)		14,969			
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		18,900	36,183			
	B.執行済額		18,867	35,962			
	うち交付金充当額		15,093	28,769			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.8%	99.4%			
予算の状況の説明		電気、電話、有線テレビ等のケ - プル線切断等インフラへの被害減少を最小限に抑えるため、4,000千円の増額補正をおこなった。 不要額221千円は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	外来植物の討伐(村内一円) (モクマオウ木、ギネネム木)	目標	(500本)	(600本)	()	()	
		実績	550本	710本			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		ビーチや海浜近くに生息していた、モクマオウ木が減少し在来種の保護が図られ、観光地としての景観が向上するとともに、魅力ある観光地が形成されつつある。 台風時における倒木災害の減少につながっている。 討伐材木を粟国村(塩工場)へ譲渡する計画であったが、輸送費が多額の算定により、保留の状況である。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	外来植物の討伐(村内一円) (モクマオウ木、ギネネム木)	目標	()	(500本)	(600本)	()	()
		実績		550本	710本		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		討伐事業の実施により、在来種の生息環境や自然環境がたもたれるようになった。 台風襲来時に折れた枝による建物被害や倒壊により道路の寸断、電気、電話、有線テレビ等のケ - プル線切断等インフラへの被害も減少傾向にあるが、まだ課題は多い。					

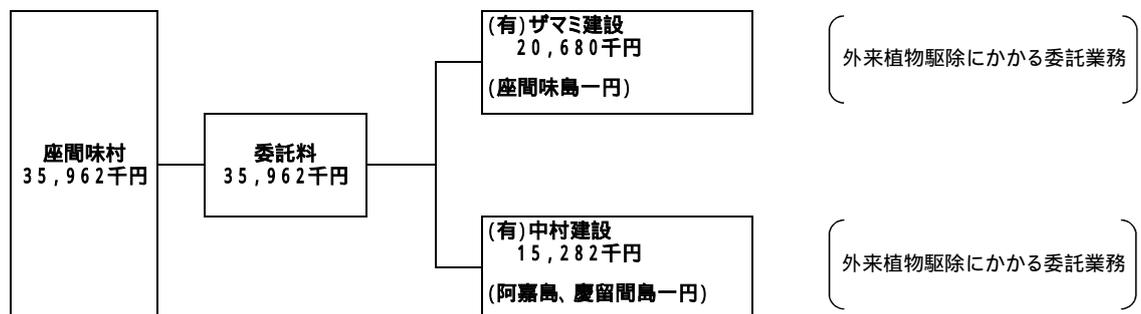
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	担当職員(臨時)を配置したことにより、事業がスム - ズ進むようになった。小さな離島村で、ほとんどが顔見知りのため、直接地域から担当職員へ討伐依頼があり、担当職員は公平な事業実施に苦慮している。	観光地として、景観が向上することを優先に事業を実施するとともに、ライフラインの被害を最小限に抑えることも考慮し、公平な事業実施の観点から地域住民が納得して協力いただける連絡体制を構築する 一度、切り倒した木が、再生しない工夫が必要となる。

今後の取り組み方針

地域の事情を把握した各区長や関係機関と連携を密にして実施前、実施後の確認を行う。
 切り倒したモクマオウ木の幹から再度、芽を出すため、薬剤を注入し、枯殺する。
 (小笠原諸島におけモクマオウ木の薬剤による枯殺実験参照)

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,962	35,962	28,770	7,192	



資金の用途の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	業者は指名参加願いに提出された登録事業者の中から選出し指名競争入札を実施した。 予算規模は適正な規模だと考えられる。 費用、用途については目的に則したものだと考えられる。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		